

平成 30 年 12 月

魚津市定例記者会見



日時：平成 30 年 11 月 30 日（金） 午後 1 時 30 分～

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、読売新聞社、朝日新聞社

NHK、チューリップテレビ、NICE TV、ラジオミュー

市当局出席者：市長、副市長、教育長、企画総務部長、民生部長、産業建設部長
企画政策課長、財政課長

1. 市長からの発表事項

- (1) 平成 30 年 12 月市議会定例会に提案する補正予算の主な内容
 - ・ 一般会計補正額 569,751 千円（うち一般財源 243,716 千円）
 - 12 月補正後の一般会計予算総額 19,123,183 千円
 - （説明内容は別添プレスリリースのとおり）

- (2) つくるUOZUプロジェクト（新分野産業育成事業）

「UOZUゲームフォーラム 2018」を開催します

- ・ 開催日時 12 月 15 日（土）10 時 00 分～19 時 00 分
- ・ 会場 新川文化ホール 展示ホール ※将棋大会は 104 号室
- ・ e スポーツ大会（全国大会の予選）・将棋大会も同時開催
- （説明内容は別添プレスリリースのとおり）

2. 教育委員会及び各部長からの説明事項

〈教育長〉

- ・ 村木公民館及び魚津市教育センター内見会（旧村木小学校）
- ・ 第 13 回魚津市子ども会議（東部中学校）
- ・ 魚津市スポーツ少年団体育大会
- ・ キニナルクリスマス（ミニコンサート 埋没林博物館）
- ・ 市内小中学校 2 学期終業式
- ・ 埋没林樹根の清掃と“水のない埋没林”の展示

〈企画総務部長〉

- ・ 12 月魚津市議会定例会（会期 16 日間）
（市議会の代表・一般質問について、これまでは一括質問・一括答弁方式だったが、12 月議会定例会から一問一答方式も試行として行う）
- ・ 平成 31 年新年賀詞交歓会

〈民生部長〉

- ・ 魚津市での認知機能検査を初めて実施（12 月から毎週火曜日に実施）
- ・ 平成 30 年度魚津市防犯協会表彰式
- ・ 暴力・飲酒運転追放地域安全パトロール
- ・ 富山県地域包括ケア推進県民フォーラム
- ・ 平成 30 年度年末警戒詰所巡回

〈産業建設部長〉

- ・ ミラージュランドお客様感謝デー（12 月 3 日から冬季休業に入る）
- ・ ものづくり青年技能者の全国大会等出場に対する報告会
- ・ おさかなランドでの新年初競り
- ・ 経田漁港わいわい市

3. 質疑応答の内容

「産婦人科環境整備事業について」

《記者からの質問》

労災病院内の分娩施設について、開設時期が平成 32 年 4 月頃とあるが、これは平成 32 年 4 月頃に診療開始ということでよいか。

《回答》（市長）

そのとおりである。

《記者からの質問》

これと併せて、市では産前産後ケア施設の整備も考えていると思うが、この整備についてはどのような流れになるか。

《回答》（市長）

基本的には、産科のオープンに合わせて、産前産後ケア施設をオープン出来るような予定としている。

《記者からの質問》

その関連の予算も新年度計上するのか。

《回答》（市長）

その予算については、既に平成 30 年度予算で計上してある。これまでは、医師

確保の関係で、着工のタイミングが待ちの状態になっていたと考えていただきたい。

《記者からの質問》

産前産後ケア施設も平成 32 年 4 月のオープンを目指すということでしょうか。

《回答》（市長）

そのとおりである。

《記者からの質問》

平成 30 年度予算ということは、整備は今年度中に終わるとのことか。

《回答》（市長）

平成 32 年 4 月オープンなので来年度の整備になると思う。

《記者からの質問》

今年度分の予算は、今年度と来年度に渡ってということになるのか。

《回答》（市長）

医師の確保がもっと早く進み、全体的にもっと早くできれば予算執行は始まっていたが、その絡みで今のタイミングになったとご理解いただければと思う。

《記者からの質問》

1 億 800 万円を労災病院に補助する形になるが、労災病院内は、本年度中に何か改修を始められるのか。

《回答》（市長）

早ければ年度末に改修工事を着手できると思う。整備スケジュール等については、現在詰めているところである。

《記者からの質問》

確認であるが、現時点では魚津市内に出産が可能な医院がない状態が続いているということでしょうか。

《回答》（市長）

現在もない状態である。

《記者からの質問》

この施設は別として、早ければ今年末から労災病院では診察を始められるかもしれないと言われましたか。

《回答》（市長）

そうではない。今年度の 4 月から産婦人科部長の先生が一人来られて、現在は婦人科の診療だけを行っている。基本的には改修の施設整備を来年度行うので、タイミングはまだはっきりしないが、その間に残りのスタッフが入ってきて、平成 32 年 4 月からは産科としての業務をスタートしていくというイメージである。

《記者からの質問》

確実に産科としての診療を受けられるのは平成 32 年 4 月からということか。

《回答》（市長）

それを目標にしている。

「小学校・幼稚園空調整備事業について」

《記者からの質問》

エアコンについて、これで市内の幼稚園・小学校・中学校、すべてに設置という認識でよろしいか。

《回答》（教育長）

そのとおりである。

《記者からの質問》

幼稚園・小学校・中学校、合わせて何施設あるか教えていただきたい。

《回答》（教育長）

幼稚園は1園、中学校は東西の2校、小学校は現在7校あるが、来年の4月からは住吉小・上中島小・松倉小が統合するので5校になる。

「産婦人科環境整備事業について」

《記者からの質問》

あと2人医師が来るということで、話しを詰めている段階だと思うが、実際に勤務されるのは、目標としている平成32年4月に施設そのものが運用できるようになってからか。

《回答》（市長）

おそらく少し早く入っていただくことになると思う。

《記者からの質問》

入っても、しばらくは婦人科ということになるのか。

《回答》（市長）

そうなると思う。どこで入っていただけるかは、このあとのことになるが、ご協力いただけるという約束は頂いている。

《記者からの質問》

目処がたって、詰めの段階ということか。

《回答》（市長）

そのとおりである。

《記者からの質問》

今現在は婦人科で、平成32年4月からは産婦人科としてスタートということでよいか。

《回答》（市長）

そのとおりである。

「ふるさと教育推進事業について」

《記者からの質問》

星の杜小学校の「偉人・先人を学ぶ施設」は、建屋としては、校舎の中に入る形なのか、外なのか。

《回答》（市長）

中である。

《記者からの質問》

折込済みで設計段階から入っていたということか。

《回答》（市長）

元々、北と南の繋ぎの部分があり、そこを利用しようということである。

《記者からの質問》

一般の方や他校の生徒もそこに入りやすいようにされているというのだが。

《回答》（教育長）

場所としては、玄関を入れて広いホールのようにしているところである。その一角に作るということである。入ってすぐのところに入りやすい場所である。他校の児童を中心に、そこでふるさと教育をしたいという思いがある。それに併せて、一般の市民の方や、木造3階建てということで来られると想定される多くの視察の方々、そういった方々にもご覧いただければいいのではと思っている

《回答》（市長）

建物の中にあるので、運用をどうしていくかは、これから考えなければいけないと思っている。

《記者からの質問》

YKKの方などが入られて、そこで活動することはないのか。

《回答》（市長）

市以外のスタッフがそこに入られて、何か活動するということはない。

「地域密着型介護基盤整備事業について」

《記者からの質問》

この事業について、新しい建屋を作るというイメージではなく、業者がこの事業を行うというイメージなのか。既存の自治体でこのようなことを行っているのかを含めて教えていただきたい。

《回答》（民生部長）

この事業については、定期巡回で随時対応型というサービスで提供させていただくものである。イメージとしては、ホームヘルパーや訪問看護などの事業者が24時間対応で対応できるようなサービスを拡充するというイメージである。建屋を建設される場合もあるし、これまで訪問看護していたのを定時巡回型訪問介護とした形でサービスを広げられるという場合もある。それについては、こちらで公募したときに、どういった事業者が応募されてくるかによって、その形態は違ってくる

思われる。この事業は、県の整備基金を活用しての補助金となる。サービス等の整備補助金となっているので、建屋であってもよいし、備品等を整備するものに対しても補助金の対象となる。建屋を作らなければならないということではない。このサービスは富山圏域では実際行われているところはある。

《記者からの質問》

県の補助金の書きぶりがそうなのかもしれないが、これだと医療と介護両方行っている事業者でなければ受けられないのか。それとも介護事業者がこれをやれるのか。24時間介護のようなイメージもあるが、24時間医療も含めるとすると結構大掛かりな話になるのでは。

《回答》（民生部長）

訪問看護のほうであれば、看護師資格のある方がスタッフとしていけば、例えば、患者や利用者のところに行ってみて状態が変わっているときに、主治医に連絡し、処置方法を確認して処置を行うということになるので、必ずしも医療法人でなければいけないということではない。ただ、スタッフは訪問看護ということになれば看護資格のある方が必要になってくる。

《記者からの質問》

これは県に聞けばいいのかも知れないが、例えば、医療系のケアや処置が対応必要な重篤な方は24時間という括りが運用される場合があると思うが、これはあくまでも24時間の対応は、介護、看護ですか。

《回答》（民生部長）

看護の部分もあれば介護の部分もあるという形になっている。例えば医療の治療が必要な方であっても、定期的な巡回と、あと状態が急変したりする場合に随時で入るというイメージである。必ずしもずっと24時間ということではなく、定期的に何時間毎に入っていくって、状態が急変したりした場合は、随時で受けて、そちらのほうに行くという形である。

「農作物台風被害緊急対策事業について」

《記者からの質問》

補助対象品目がりんごと白ねぎの2品目だけになっているが何か理由があるのか。なし等も結構被害にあっていたと思うが。

《回答》（産業建設部長）

台風21号の強風による被害では、りんごは、樹体が損傷し果実が多数落ちるなど被害が大きかった。幸いなしの方は、りんごほどの大きな被害がなかったので、今回はこのような補助制度になった。

《記者からの質問》

白ねぎも被害額が大きかったのか。

《回答》（産業建設部長）

りんごほど被害額が大きいわけではないが、ねぎが折れたなどの被害があった。

「UOZUゲームフォーラムについて」

《記者からの質問》

UOZUゲームフォーラムについて、ゲームを開発され一部販売もされて、こうした大きな大会を開催するなど、大きな成果をあげていると思うが、来年度以降について何か考えていることはあるか。

《回答》（市長）

まだ、来年度の具体的展開は検討中である。これを行っている意味合いは以前からお話しているが、最終的には企業誘致なりサテライトオフィスなりの働く場の創出に繋がりたいということが目標である。もちろん、個人での創業や起業というものもひとつの成果ではある。実際にワークするといったところに、もっていきたいと考えている。ただそのときに、業界の方々と話しをすると、そういった人材がこの地域にいないと、そういう企業やサテライトオフィスの設置というのは器だけもってきても駄目だということがある。そういう人材がしっかりと集まる環境を作りたいために、今やっている。したがって、内容はこれからであるが、来年度もベースとして人材が集まる環境をつくることは続けていきたいと考えている。その展開のなかで、一定程度目処が立つようであればサテライトオフィスなりゲーム会社の誘致などに具体的にアプローチをしていきたいと思っている。